



2023

7月

第219号

令和5年7月5日  
発行

西海市社協だより

Saikai City of Welfare with Scrum

## 人と自然と



### 就労継続支援 B 型事業所 百合の里（大瀬戸）茶畑の除草作業の様子

百合の里は主に花・野菜の生産販売や農作業を行っており、施設外就労にも力を入れて地域に密着した事業所を目指しています。

利用者にはアットホームな雰囲気の中で働く楽しさや達成感を感じてもらいながら、共生社会の実現に向けて日々活動しています。



西海市社会福祉協議会



# あなたの会費が

# 地域福祉を支えます

## 会員募集にご協力をお願いします

西海市社協では、毎年7月を会員募集強化月間として社協会員の募集を行います。福祉の地域づくりのため皆さまのご協力をお願いいたします。

使命は福祉の  
地域づくり

社会福祉協議会は、市民の誰もが安心して暮らせる福祉の地域づくりを目指し、市民や関係機関と連携しながらさまざまな事業を進めている民間団体です。市民や地域が抱える困りごとに対して、市民の皆さまと共に考え協力し合いながら解決に向けて取り組んでいます。

社協会費から  
はじまる  
地域福祉への参加

社協の財源は主に市からの補助金や受託金、介護保険事業収入などですが、社協本来の地域福祉活動は、赤い羽根共同募金の助成金や寄付金、そして社協会費が主な財源です。

特に社協会費は、市民の皆さまの参加や協力によって地域福祉活動を進めるために最も重要な役割を果たしています。社協会員に多くの方になつていただくことで社協が行う福祉活動を資金面で支え、地域福祉活動に参加いただくことにもつながります。



7月を強化月間として加入をお願いしていますが、社協会費は年間を通して受け付けています。また、会員加入は決して強制ではありませんが、社協活動にご理解・ご賛同いただき、多くの皆さまに会員加入と地域福祉の推進にご協力いただきますようお願いいたします。

### 会費の種類と金額

一般会員	西海市民	1口	500円
法人会員	施設、事業所	1口	2,000円
特別会員	西海市外住民	1口	1,000円
団体会員	福祉団体等	1口	5,000円

みんなが地域の  
サポーター



# 令和4年度社協会費の実績



町名	一般会員		法人会員		特別会員		合計	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)		
西 彼	1,664	859,300	60	343,000	7	16,000	5,085,932円でした。ご協力ありがとうございました。	
西 海	1,471	897,890	75	441,000	7	16,000		
大 島	1,071	589,220	29	161,000	団体会員		金額(円)	
崎 戸	503	267,300	23	77,000	件数(件)	金額(円)		
大瀬戸	1,545	874,222	76	348,000	市内	6	30,000	
西海市外			31	182,000	市外	0	0	
合 計	6,254	3,487,932	294	1,552,000		6	30,000	5,085,932

## 社協会費の使いみち

市民の皆さまからの社協会費によってこれらの福祉活動が支えられています。

### 地域福祉活動計画の推進



### ボランティアの活動支援

### 福祉推進員の活動支援



この他にも、配食事業、福祉6団体の活動支援やチャイルドシート等の貸与事業にも役立てられます。

## 社協会員ならこんな特典も!!

### 1 レンタカー料金が会員価格

- 25人乗りマイクロバス  
1日25,000円が**15,000円**に
- 10人乗りワゴン車  
1日15,000円が**10,000円**に
- 車いす対応軽自動車  
1日6,000円が**5,000円**に

### 2 チャイルドシート等貸与料金が無料

- ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシート、ベビーカー  
1カ月300円が**無料**に





# 「みんなが安心して暮らせる 福祉のまち さいかい」を目指して

## 第3期西海市地域福祉活動計画 令和3年度から5年間

地域福祉の主役は、地域で生活する市民の皆さんです。現代における地域課題の複雑化・多様化、近年の大規模な自然災害の発生など、地域のコミュニティや住民同士のつながりの重要性が高まる中、市民の皆さんの地域福祉推進への理解と参画が必要です。

### 市民が主役の 地域福祉

西海市社協は、令和3年に「第3期西海市地域福祉活動計画」を策定し、市民の皆さんやボランティア団体、NPO、福祉関係者等が担い手となり、相互に協力して、「みんなが安心して暮らせる福祉のまち」をつくることを目的に、市内各地で地域福祉の推進を行っております。

今回は西海市社協が地域福祉活動計画の中でも、中核として位置づけている地域福祉連絡会について、ご紹介します。

## 地域福祉連絡会



### ～地域住民が主役のまちづくり～

地域福祉連絡会とは、地域の生活・福祉課題や困りごとの解決を目指す住民主体の組織です。おおむね行政区単位で設置しており、行政区長、民生委員・児童委員、福祉推進員、地域内の関係者と社協職員が集い、課題や困りごとの共有、解決を図るための協議や活動が行われています。

### 実際に参加している大瀬戸町瀬戸板浦地区の方々にお話を聞いてきました！



岩崎 <sup>もとお</sup>源生さん (行政区長)

区長として「ありがとう」がお互いに言えるぬくみのある地区にしたいと考えています。

そのために住民同士で話し合い、社協にも相談しながら、ひとり暮らしの高齢者の見守り等を協力して行っています。



北村 和幸さん(民生委員・児童委員)

数十年ぶりに県外から帰郷したので、まず地区の状況を把握することからスタートしました。地域福祉連絡会に参加して地区の方と情報共有し、細かく地区のことを知ることができ、訪問や安否確認がしやすくなりました。



高崎 勝吉さん(福祉推進員)

災害時にどこに避難するのか、誰に支援が必要なのかを参加者全員で考え、対応できるようにしています。また、近所の人への見守りもできるときに行っており、困っていることはないか聞いたりしています。

# 自分たちにできること 小学校で福祉学習

6月に社協職員が市内の小学校で福祉学習・体験を行いました。学校ごとで学習や体験内容は違いますが、子どもたちの学びの様子と、学校の先生へお話を聞いてきましたので、合わせてご紹介します。



西彼

## 社協職員による講話の様子

大串小学校の6年生が「ボランティアについて学ぼう」というテーマで、福祉学習を行いました。

講話の中で社協職員が、「みんなにもできるボランティアって何があるかな？」と問いかけると、「難しいなあ」と頭を悩ませる場面がありながらも、児童からは、「ゴミ拾い」や「掃除」との声があがっていました。

また、講話をした社協職員からは、「ボランティアとは、誰かに言われてするものではなく、自分の意思で考えて行うことが非常に大事」との話がありました。

児童からは過去に起きた震災について、積極的に手が挙がり、質問する姿が見られました。



西海

## 体験セットを着用してコップに水を注ぐ児童

西海小学校の4年生が高齢者疑似体験を行いました。児童たちは、体験する人と介助をする人で2人1組になって、シャツやタオルを洗濯物干しにかけて、重い荷物を持って移動したりするなど、日常生活の動作を体験しました。

児童からは、「大変だ」、「うまくいかないなあ」などの声が聞かれましたが、介助する側の児童が寄り添って優しく声をかけながら、体験者の手助けしている場面も見られました。

最後には「困っている人がいたら、自分にできることをして助けてい」などの声が聞かれました。

## 先生へインタビュー!

### テーマ：福祉学習を通して子どもたちに学んでほしいこと

大串小学校 6年1組 担任 吉川 亮 先生

今回の学習を通して子どもたちに学んでほしいことが大きく2つあります。1つ目は、小さなことや変化に気づくことの大事さです。例えば、ゴミが落ちていたとしてもそのゴミに気づくことができなければ、拾うという行動に結びつくことはなく、気づくまでそのままになってしまうからです。

2つ目は、誰かのために自分にできることはないかと考えることです。現在6年生は、ボランティア活動として校内で朝の掃除を行っていますが、今後は自分が住んでいる地域や人のために何かできないかと考え行動できるようになると同時に、感謝の心を持つことも学んでほしいです。



## 福祉施設の連携強化

西海市福祉施設連絡協議会総会



令和5年度 新役員の挨拶

6月1日、西海市福祉施設連絡協議会総会が西海総合福祉センターで開催されました。総会には市内12法人14名が出席し、今年度の予算・事業計画の承認や役員改選が行われました。

会長には社会福祉法人ふるさと理事長の北島淳朗氏が再任され、今年度の活動への意気込みや、新規会員の拡大に向けて話がありました。

## 親子で味噌づくり体験



作った味噌をこねる親子

6月17日、横瀬保育所では波佐見町の原味噌本店から講師を招き、親子ふれあい参観の一環として、味噌づくり体験をしました。

参加した保護者からは「食育について勉強になる」という声や、子どもたちからは、「お父さんとお母さんと一緒に味噌汁を作って食べてみたい」との声が聞かれました。

### 有料広告

当店では納骨壇工事も承っております

大瀬戸町 真光寺様 納骨堂



# 池田仏具店

● 仏壇・仏具 ● 寺院 ご内陣・納骨壇  
西海市西海町七釜郷567-29 (0959) 33-2123

# ファミサポ物語り

## 会員になろう! 編①



**提供・依頼会員 募集中!**  
★登録無料★

[連絡先及び問い合わせ先]

**ファミリー・サポート・センターさいかい**

(西海市立大島児童館内) 担当 麻生

〒857-2427 西海市大島町1766番地

電話・FAX: 34-2139 携帯: 080-2694-8670

## 西海市老人クラブ連合会長に

### 三岳 孝夫 さん (大島町)



市内の老人クラブで構成し、クラブ活動の普及や地域づくりを目的とする、西海市老人クラブ連合会の総会が5月に開催され、新会長に三岳孝夫さんが選出されました。

## こころの相談してみませんか?

### 西彼保健所精神保健福祉相談事業

「眠れない」、「意味も無くイライラする」、「気分がゆううつだ」、「何もやる気がおきない」

家族のこころの健康について悩んでいる。

(不登校・ひきこもり・アルコール依存など)

精神科疾患(疑い)のある人の治療に関すること

精神科医療機関についての情報を知りたい など

西彼保健所ではこころの健康、思春期の相談、ひきこもりなど精神保健に関する相談について、医師や保健師、作業療法士、が相談をお受けしております。

お早めに相談されることが解決への一歩となります。お気軽にご相談ください。

#### 相談実施日

##### ■精神科医師による相談(予約制)

毎月第3木曜日 14時30分から16時30分まで(長与町公民館)

奇数月第1月曜日 14時00分から16時00分まで(西彼保健所)

##### ■保健所職員(保健師・作業療法士)による相談

平日 月曜日から金曜日 9時00分から17時30分まで

(※土日・祝日・年末年始を除く)

\*相談はいつでも無料です。

\*相談の内容(個人情報)は秘密厳守いたします。

\*ご家族、関係者の方のみの相談でも構いません。

\*西海市にお住まいの方は個別に日時・場所を調整しますのでご相談ください。

[相談窓口] 長崎西彼保健所 地域保健課 保健福祉班 095-856-5159




お困りではありませんか？  
**法律問題**  
**ご相談**ください  
**要予約**

相談無料

借金や離婚、土地、遺産相続など法律上のことでお困りではありませんか。暮らしの困りごとを解決するため、弁護士がご相談に応じます。※状況によっては、リモートでの相談となります。

◆ 8月17日(木) 相談時間 13時～17時  
 場所：西海市社会福祉協議会 大島支所  
 大島町 1832 番地 1

予約先  
 西海市社会福祉協議会 **電話29-4081**



暮らしや仕事などで悩んでいませんか

相談無料  
 秘密厳守

**一人で悩まず**  
**ご相談ください**

**生活のこと**

- ◆収入が不安定で生活費のやりくりで困っている
- ◆借金や滞納金が多くてどうしたらいいかわからない

**仕事のこと**

- ◆仕事をしたいがなかなか決まらない
- ◆仕事が長続きしない
- ◆失業した




**赤い羽根号が**  
**助成されました!**



西海市社協は長崎県共同募金会より助成を受け、軽自動車1台を配備しました。  
 この車両は、支援が必要な高齢者の方などを対象に本会が実施している配食サービス事業の車両として大切に活用させていただきます。

**西海市生活支援相談室** 電話 29-4081

西海市社会福祉協議会内  
 西海市西海町黒口郷1477番地1  
 相談日：月曜日～金曜日（8時30分～17時30分）  
 Mail：chiiki@shakyo-saikai.jp

**ご寄付・お礼**

○5/16～6/15受付分

社会福祉事業資金として次の方々から心温まる善意の寄付をいただきました。地域福祉活動などに大切に活用させていただきます。皆さまのご厚情に心から感謝申し上げます。

なお、本会への寄付金は税額控除の対象となります。

▽忌明寄付

西彼町

- ◆下田昭博様(故 圭子様)

西海町

- ◆佐々木正様(故 トヨ子様)
- ◆川崎政夫様(故 昭子様)
- ◆福田龍浩様(故 シゲノ様)
- ◆森 忠彦様(故 笑子様)


大島町

- ◆小佐々文子(故 清治様)

大瀬戸町

- ◆川本正司様(故 好子様)
- ◆岡 順子様(故 剛一郎様)

- ◆橋口キヨ子様(故 哲治様)
- ◆椎山克英様(故 サヨ様)



**編集後記**

今月号の表紙は、就労継続支援B型事業所百合の里を訪ねました。私自身、茶畑に入ったのは人生初で綺麗な風景に心が癒されました。

利用者の方々は同行した職員の方と、和気あいあいと作業をしていました。

ある利用者の方に「仕事は楽しいですか」と聞くと微笑みながら頷いてくれました。私はその時、働くことの大切さを教えてもらった気がしました。(J)